

お告げのマリア修道会



まごころ会

2024年7月

TEL.095-846-8300



QRコードから
アクセスして
下さい

『わたしは主のはしたためです。
お言葉どおり、この身になりますように。』



よき勧めの聖母像

修道会本部 前庭に移設

5月30日(金) 聖母訪問の祝日の前日、曙保育園(松浦市御厨町)の聖母子像が本部に運ばれてきました。たくさん園児や保護者、職員を見守り続けたマリア様は、今度はおいでの皆様を本部でお迎えします。据えられた翌日には、ご近所の方が物珍しそうに、しばらく眺めていました。両方に杖をついた女性も深々とお辞儀をして戻られました。

6月5日から今年度最初の黙想会が始まりましたが、よき勧めの聖母は三々五々やってくる姉妹たちをあたたかく迎えてくださいました。聖母像の前でしばらく見つめている姉妹あり、西木場修道院や曙保育園にいたことのある姉妹は懐かしいと言って玄関に入ってきました。

よき勧めの聖母は本部で、皆様のお越しをお待ちしております。



二〇二四年度

修道会会員の黙想会始まる

佐世保修道院(祈りの家)をこの3月で閉じましたので、今年度は全会員が本部で黙想を行なうことになりました。

年間通して7回黙想会が行われます。その最初の黙想会が6月5日(水)から14日(金)まで、古里慶史郎神父様(フランシスコ会)のご指導で行われました。ゆったりと静かに祈りがささげられていました。

まごころ会員の皆様、シスターたちのためにお祈りをよろしく願います。次回は7月4日(木)から13日(土)までです。



まごころ会会員帰天

お祈りください

マルタ 下本幸子様 84歳

2024年5月17日 帰天

土井の浦教会所属

マリア 峯 活子様 81歳

2024年6月11日 帰天

平戸教会所属

テレジア 河内タマエ様 96歳

2024年6月12日 帰天

三井楽教会所属

アンナ 吉永キミエ様 98歳

2024年6月12日 帰天

紐差教会所属

会員帰天、お祈りください

Sr. マリア 松下サナエ 92歳

2024年5月31日 帰天

田平修道院 修道生活49年

主よ、永遠の安息を彼らに与え給え

教皇メッセージ

(バチカン・ニュースホームページより)

「福音の種を 寛大に信頼をもってまく」

教皇フランシスコは、6月

16日(日)、バチカンでお告

げの祈りの集いを持たれ、正

午の祈りを巡礼者らと共に

唱えられた。

《教皇の説教》

今日の典礼の福音(マルコ

4・26・34)は、神の国を

「種」のイメージを通して語っ

ている。福音書の中でイエスは何度も「種」のたと

えを用いられている。今日の福音でイエスは、特に

「信頼して待つ」という大切な態度について考える

ように、わたしたちを招いておられる。



神の国も同様である。主はわたしたちの中に御言葉の種と恵みというたくさん良い種を置かれる。そして、わたしたちを見守り続け、忍耐をもって待たれる。主は父の信頼をもって、わたしたちの世話を続けられる。種が開き、育ち、良い業の実を結ぶまで、わたしたちに時間をくださる。それは、ご自身の畑で何も失われることなく、すべてが完全に実りに至ることを、主が願われるからである。主はわたしたち皆が、いっばいに実った穂のように育つことを望まれる。

それだけではない。主はこうすることによって、わたしたちに模範を示される。わたしたちにも自分のいる場所で信頼をもって福音の種をまくように、そしてその種が育ち、わたしたちや他者の中で実を結ぶのを待つように、そして、努力にも関わらず、すぐに結果が見えなくても、失望することなく、互いに支え、助け合うようにと教えられる。事実、わたしたちの間でも、見た目を超えて、奇跡はすでに始まっており、やがて豊かに実を結ぶだろう。

では、ここで自問しよう。わたしは自分の中に御言葉の種がまかれるようにしているだろうか。そして、わたしは信頼をもって御言葉の種を自分が暮らす場所にまいているだろうか。結果がすぐに見えなくても、忍耐強く待つことができるだろうか、それともすぐに失望するだろうか。福音を告げるために自分のベストを尽くしたとしても、

実際、種まきにおいて、農夫が良質な種をたづねてまいりたとしても、土をよく耕したとしても、すぐに芽を出すわけではない。それには時間がかかる。それゆえ、種まきの後で、農夫は、種がタイミングよく開き、土から芽を出し、豊かに実をもたらすように強く育つまで、待つことができなければならない。土の中では、すでに奇跡が起きつつある。それは非常に大きな、しかし目に見えない成長である。ここでは忍耐が要る。表面上は何も起こらないように見えるその間にも、土壌を管理し、水をやり、草取りを続けなければならない。

すべてを安心して主にお任せすることができようか。

御言葉の種をご自分の中に受け入れ、育てられたおとめマリアよ、わたしたちが福音の種を、寛大に信頼をもってまくことができるようお助けください。

6月29日 聖パトリックの祭日
中村倫明大司教様 ご霊名の祝日

わたしたちのことをいつも心にかけてくださる中村大司教様のご健康とご活躍を引き続きお祈りいたしましょう。

長崎教区報 2024年6月号1面の記事より

“アド・リミナに参加された中村大司教様”
『アド・リミナの最初の日が神のお告げの祭日でしたので、お告げのマリア修道会のためにミサをささげることから始め、…』とありました。

ローマに行かれた時もお告げのマリア修道会を思い出してお祈りくださった中村大司教様に感謝。そして 感謝です。

長崎教区の司祭、奉献生活者、信徒が、互いに祈り、支え助けあっていけますように。

